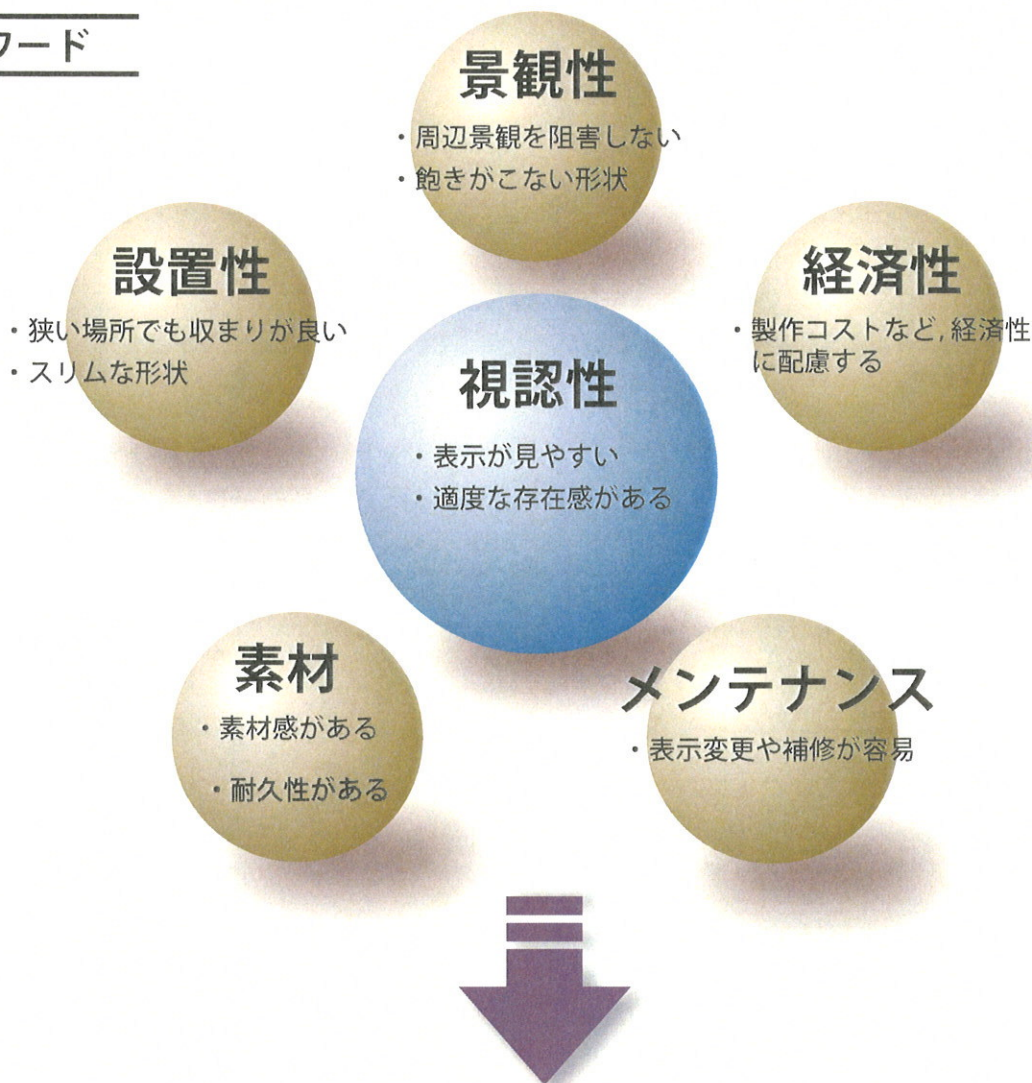


4 デザイン

- 1 デザインの考え方
- 2 本体デザイン
- 3 表示デザイン

以下キーワードを考慮し, 京都の景観に調和するシンプルで洗練されたデザインとする。

キーワード



景観に調和するシンプルで洗練されたデザイン

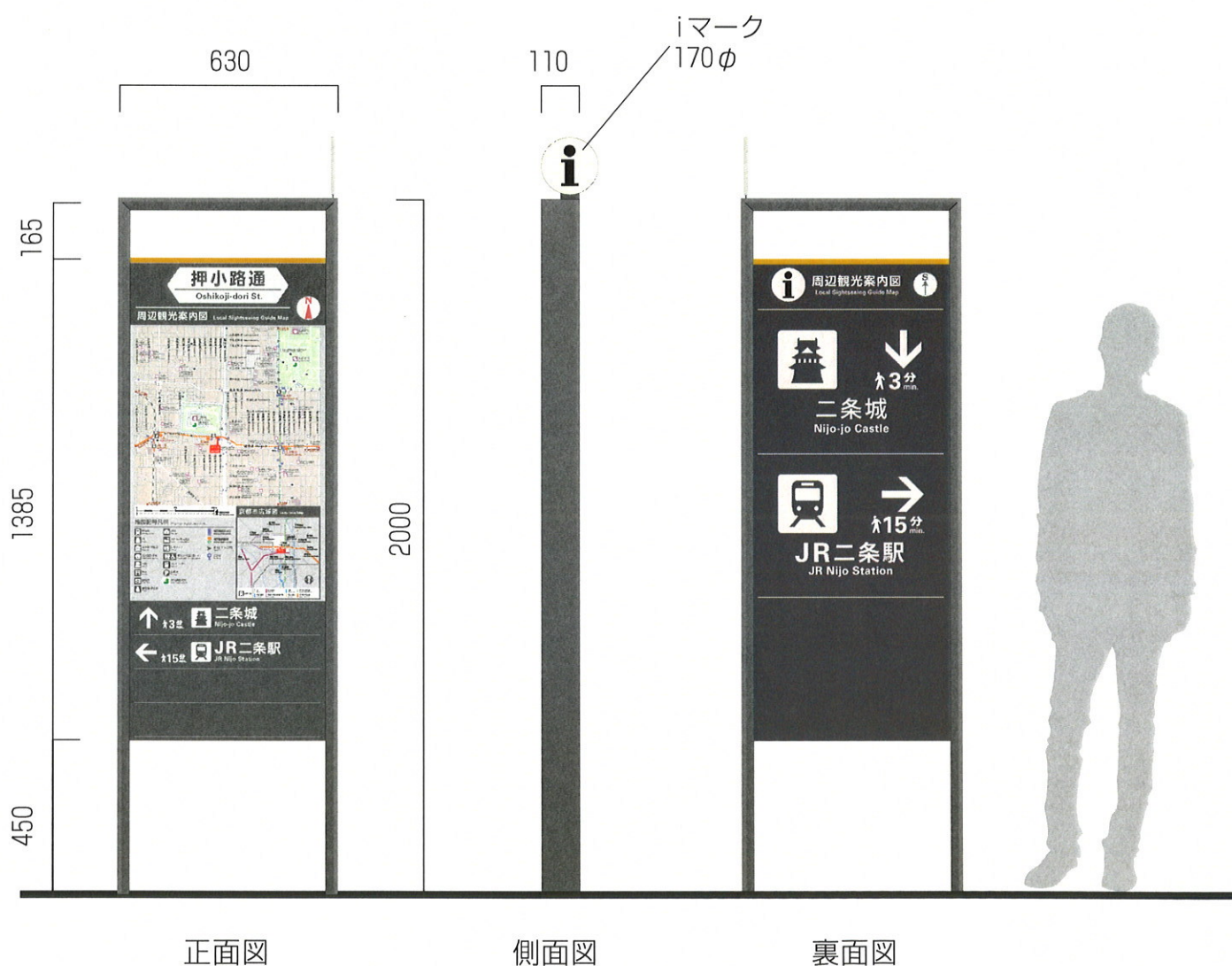
京都を直接的にイメージさせる意匠を施すのではなく, 景観を引き立て, 調和させるため, シンプルで洗練されたデザインを採用する。

本体デザインの類型

	案内サイン	誘導サイン	通り名サイン	複合型通り名サイン
A	——	自立式 - 短冊型	自立式 - 短冊型	自立式 - 短冊型
B	——	自立式 - 矢羽根型	自立式 - 矢羽根型	自立式 - 矢羽根型
C	——	共架式 - 矢羽根型	共架式 - 矢羽根型	共架式 - 矢羽根型
D	——	——	共架式 - 短冊型	——

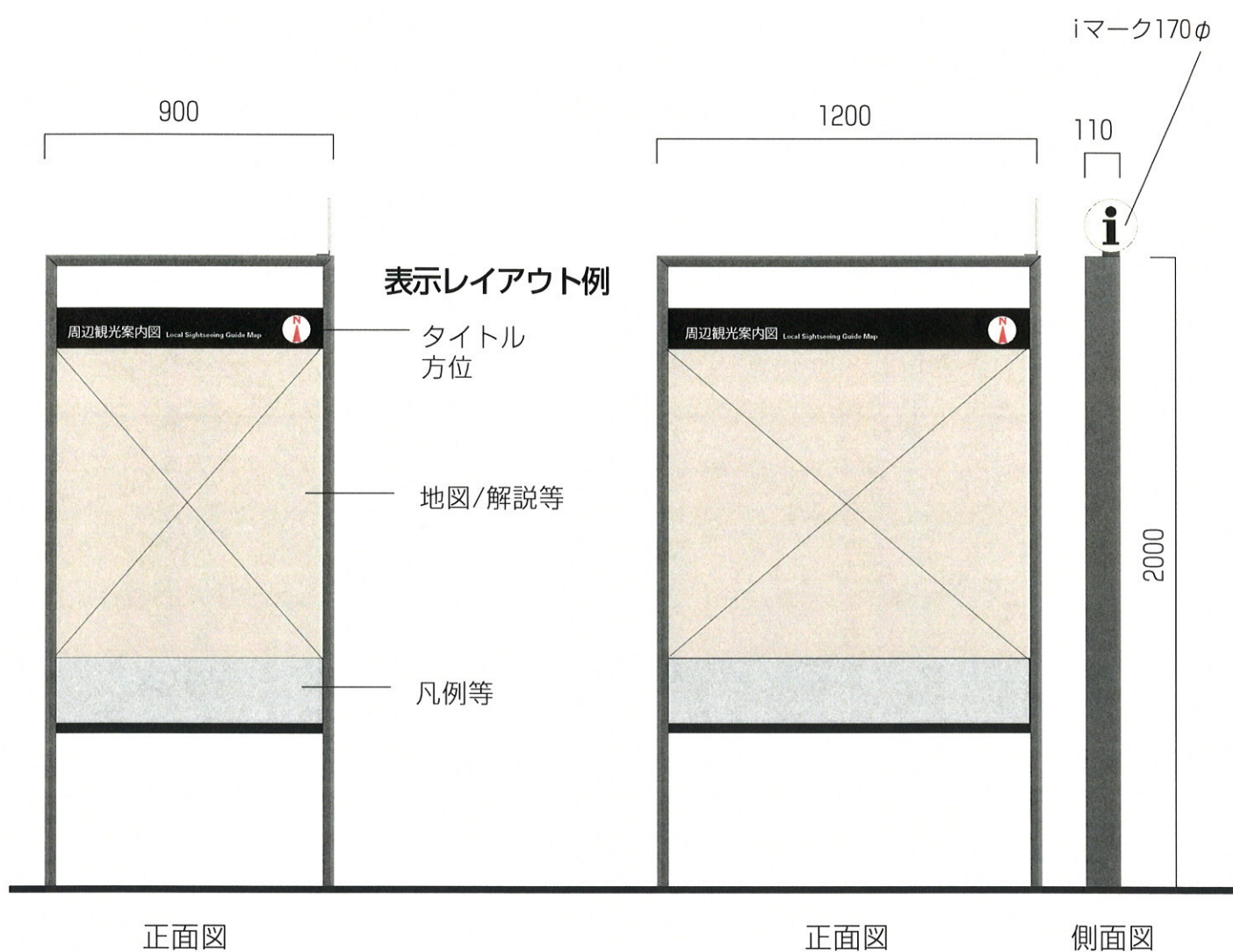
案内サイン

630巾 標準タイプ



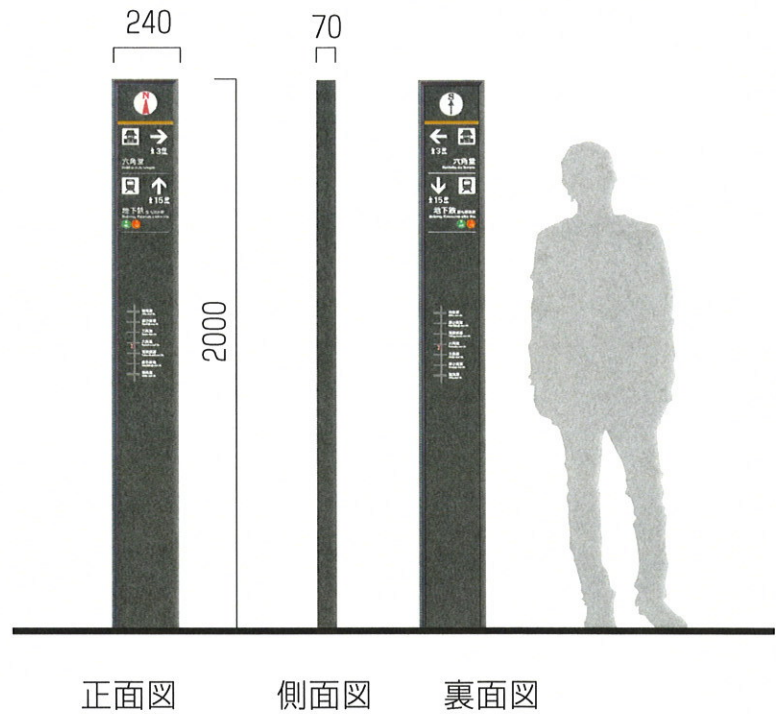
案内サイン サイズバリエーション

900巾 / 1200巾

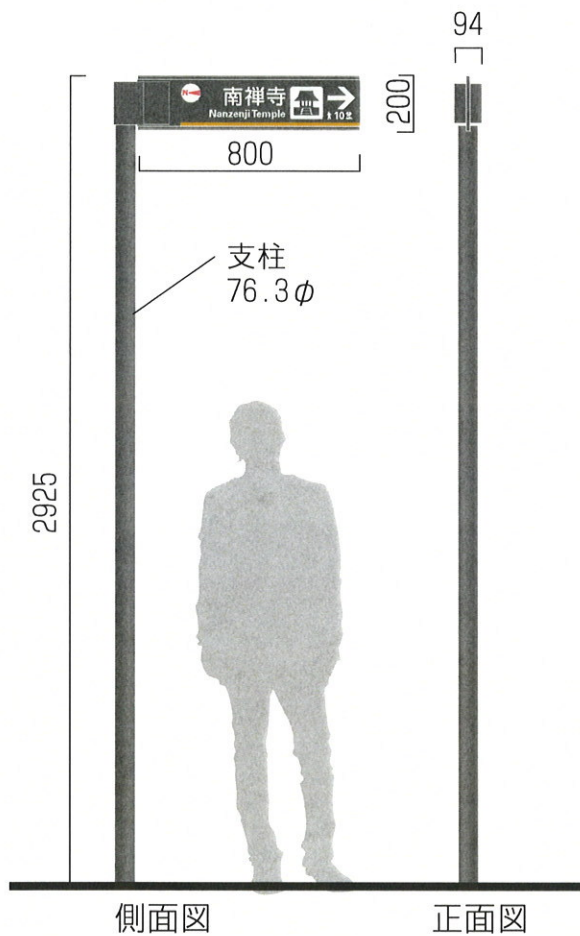


誘導サイン

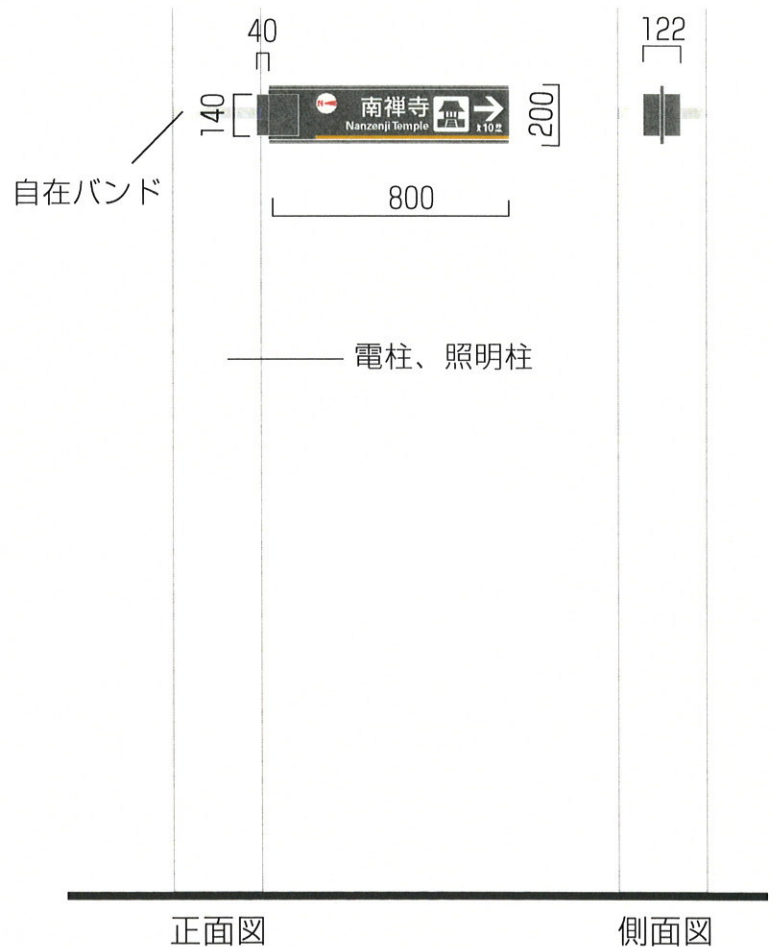
誘導サインA（短冊型－自立）



誘導サインB（矢羽根型－自立）

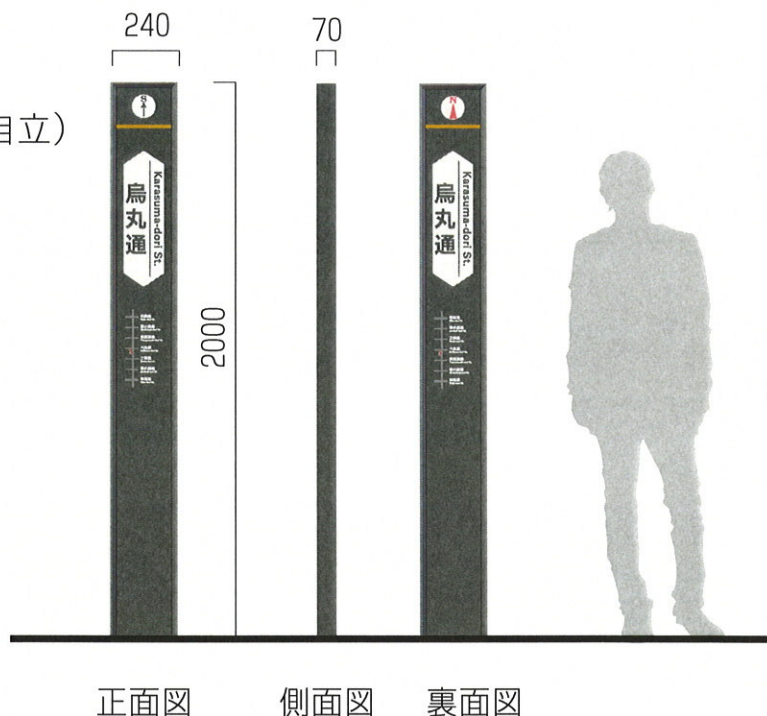


誘導サインC（矢羽根型－共架）

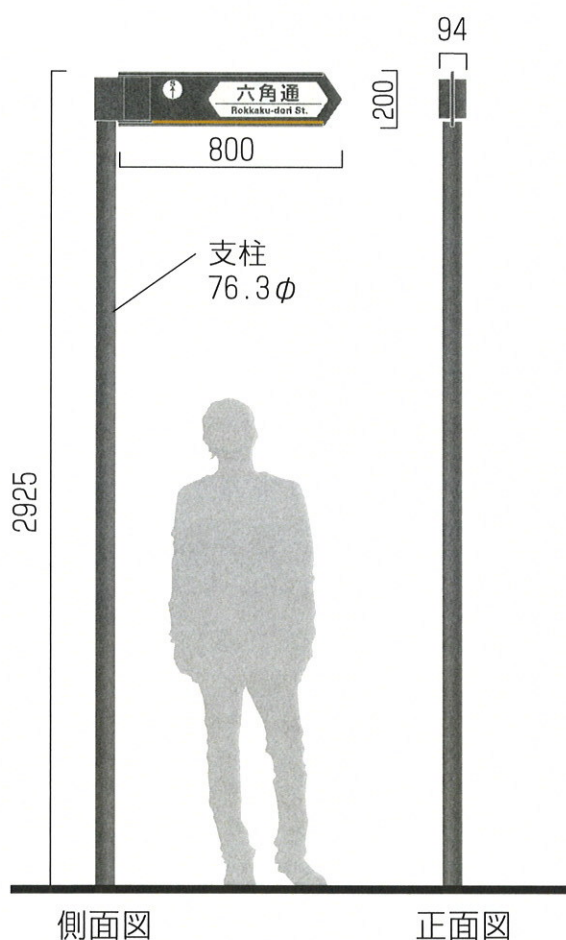


通り名サイン

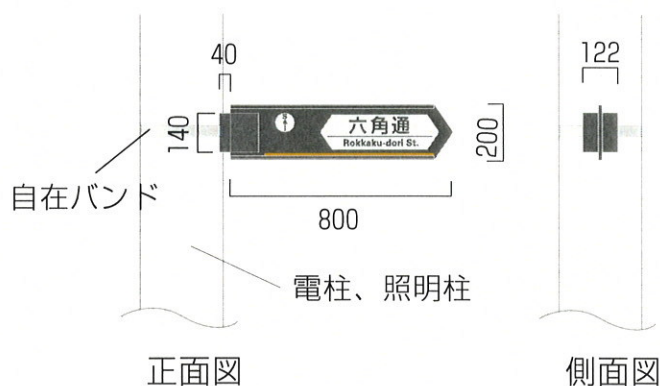
通り名サインA (短冊型－自立)



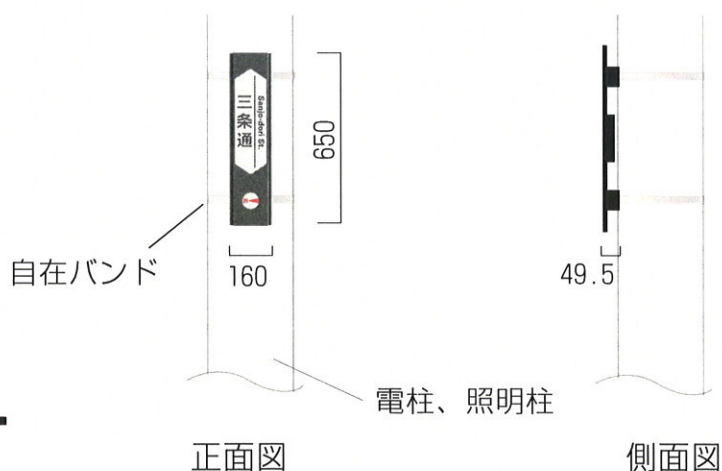
通り名サインB (矢羽根型－自立)



通り名サインC (矢羽根型－共架)

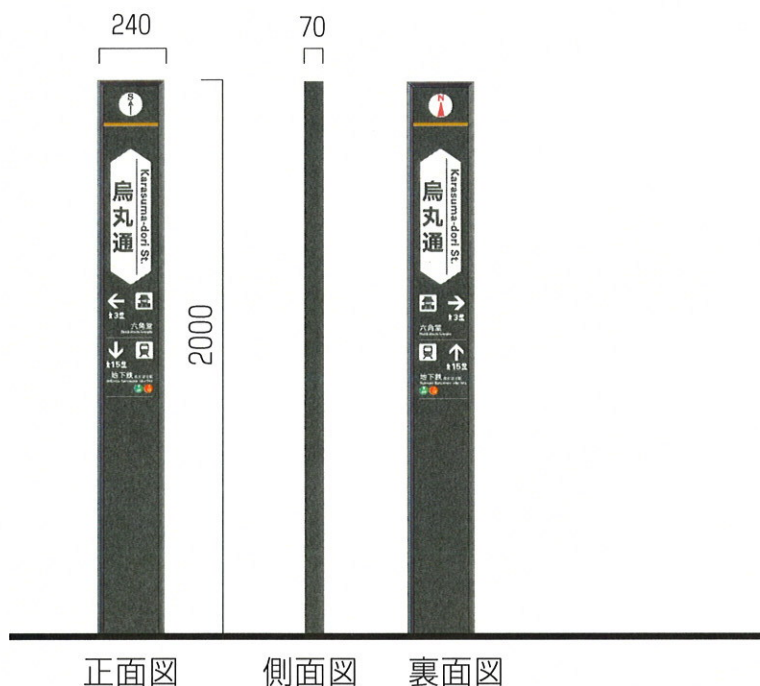


通り名サインD (短冊型－共架)

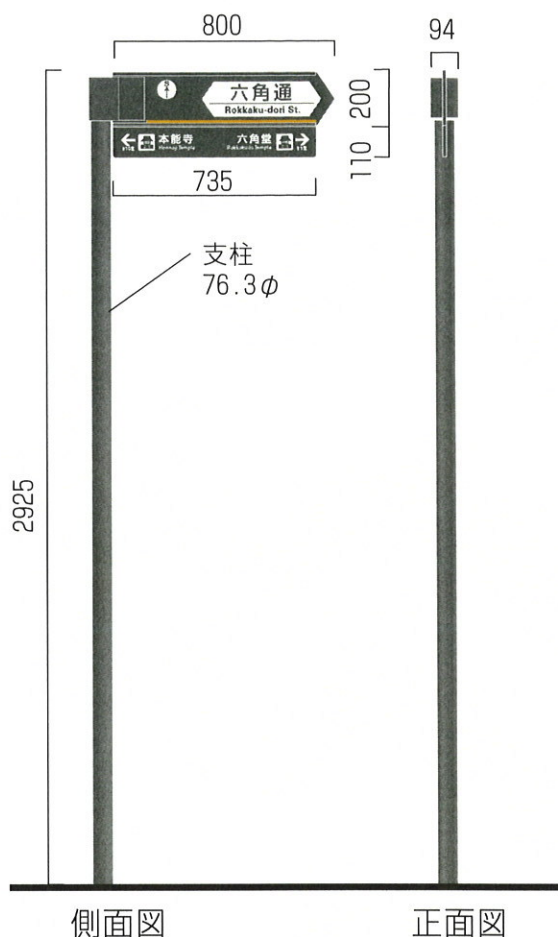


複合型通り名サイン

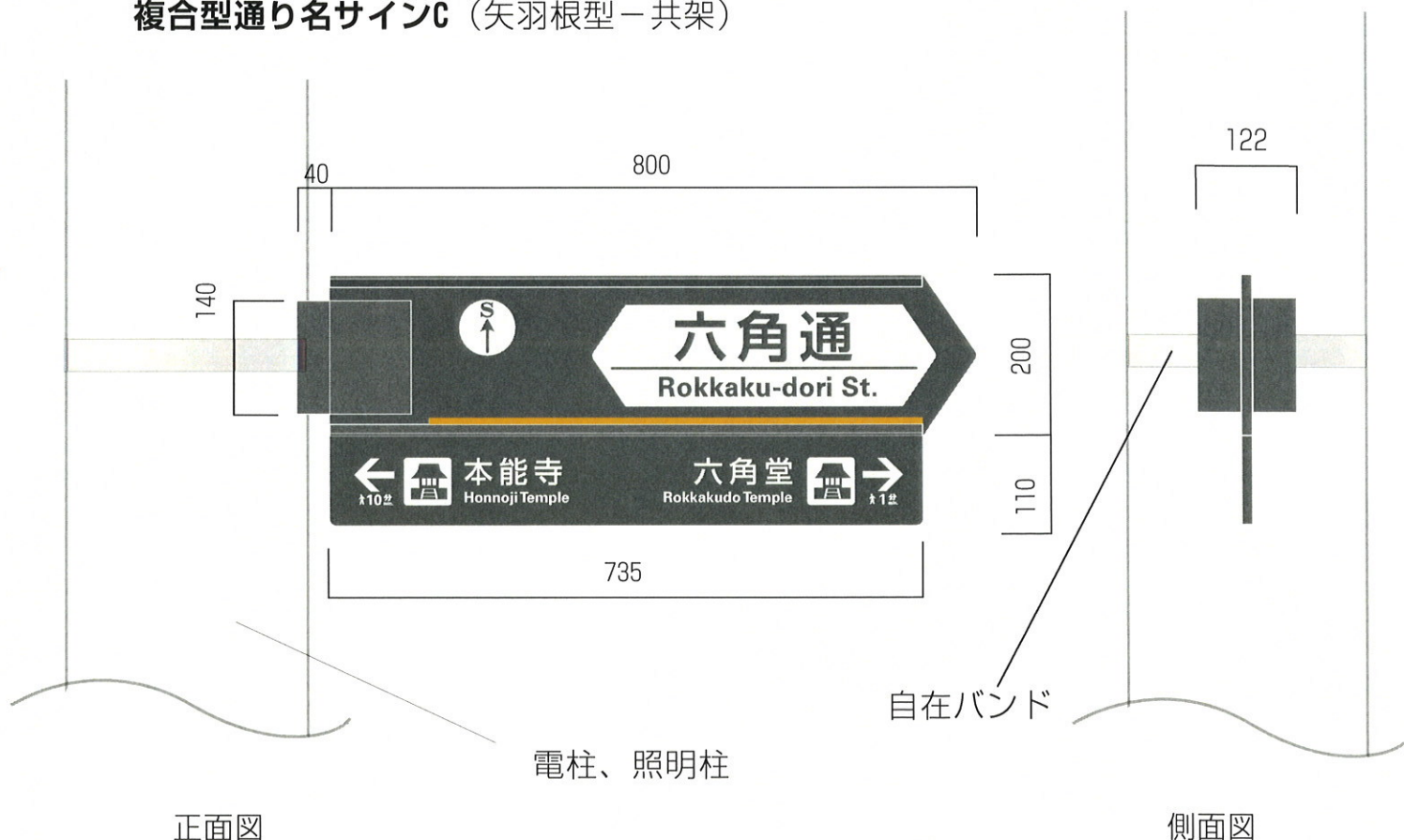
複合型通り名サインA（短冊型－自立）



複合型通り名サインB（矢羽根型－自立）



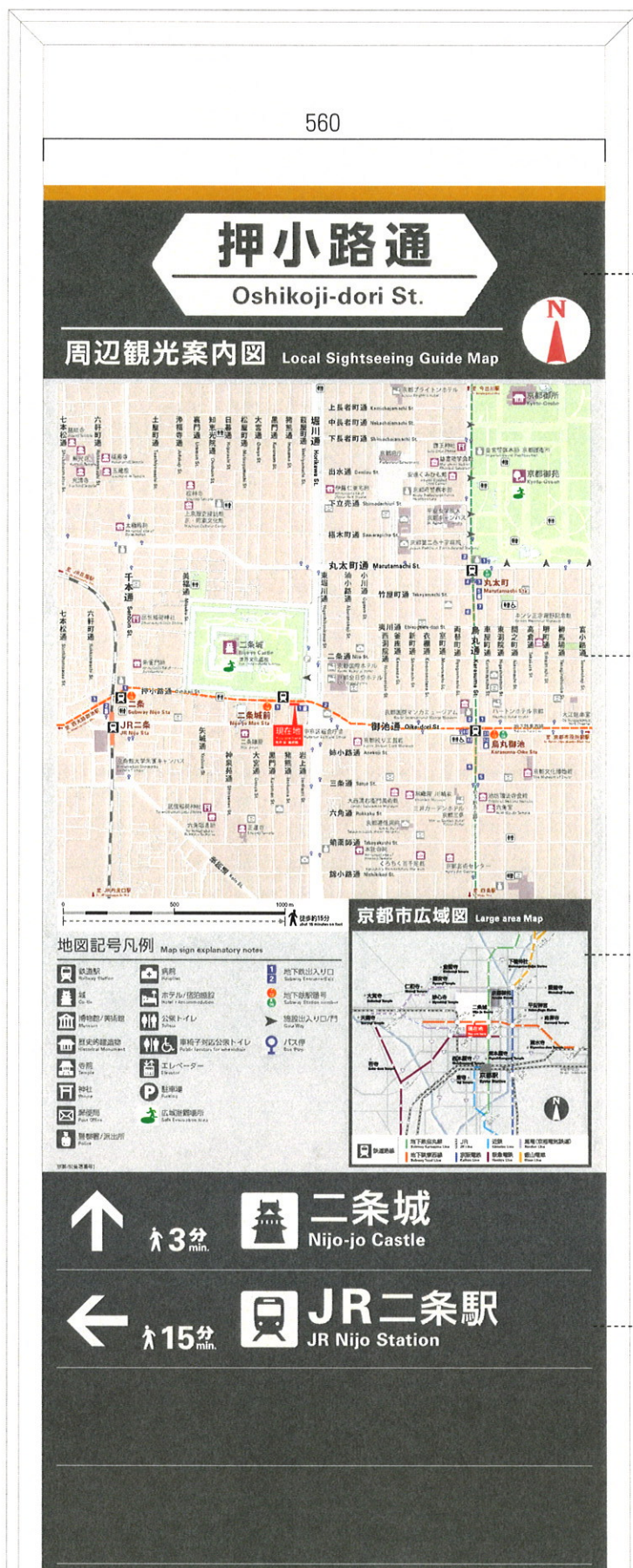
複合型通り名サインC（矢羽根型－共架）



案内サイン

正面図

1385



- 通り名称
- 方位
- タイトル(周辺観光案内図)

- 周辺案内図(地図)
 - ・ 現在地表示
 - ・ スケールバー
 - ・ 地図記号凡例の表記

- 広域案内図
 - * 交通機関・主要観光目的地を記載

- 直近の観光施設や交通機関への誘導
 - * 誘導表記の際は、矢印・目的地への大まかな所要時間を記載

案内サイン

裏面図



●インフォメーションマーク (iマーク)

●タイトル(周辺観光案内図)

●方位

●直近の観光施設や交通機関への誘導

*誘導表記の際は、矢印・目的地への大まかな所要時間を記載

誘導サイン

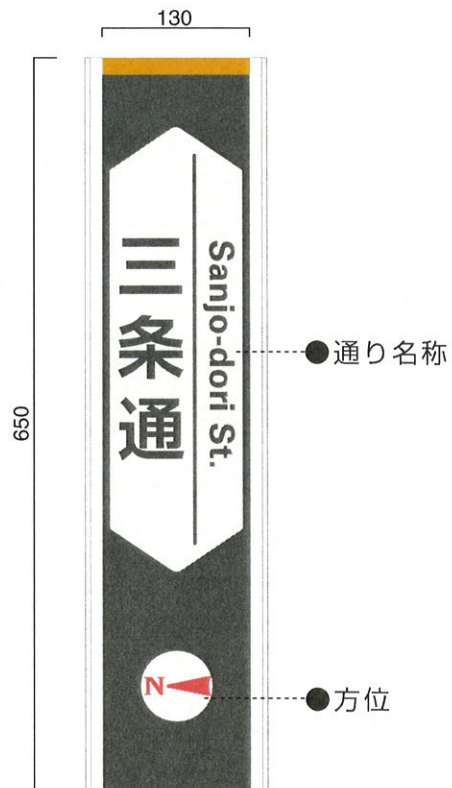
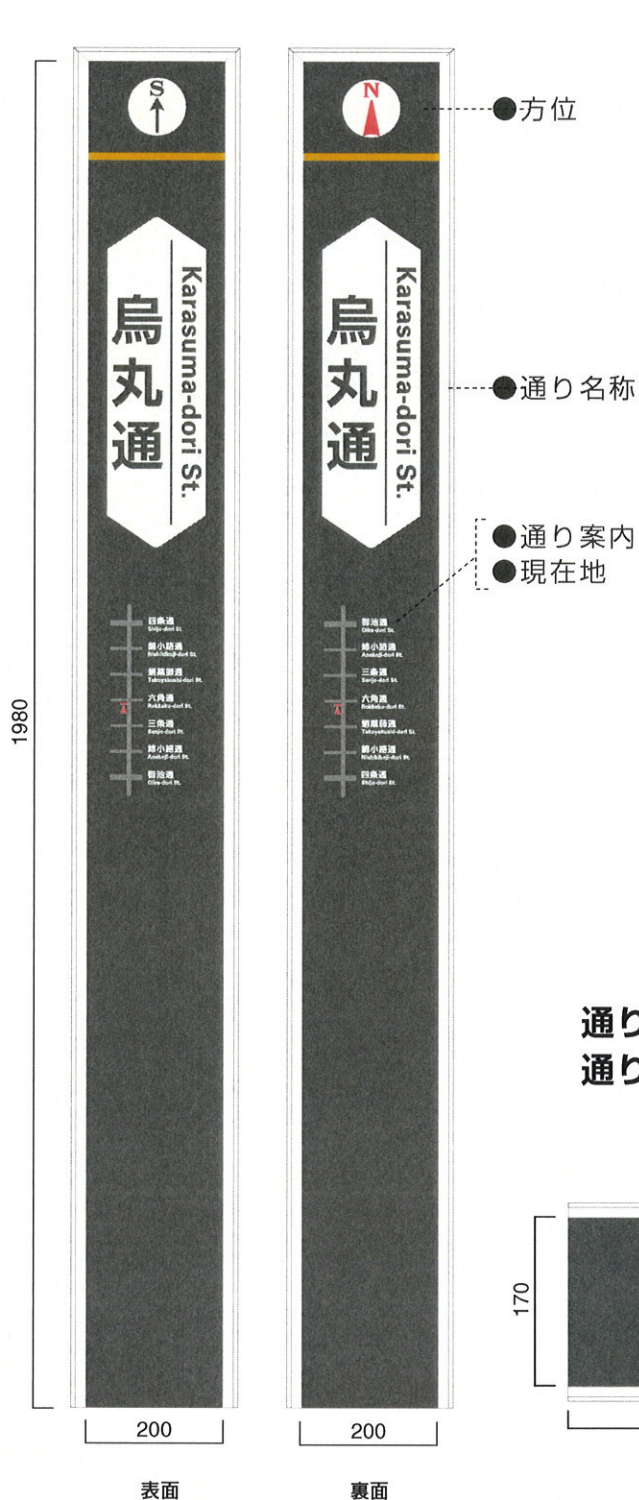
誘導サインA (短冊型－自立)



通り名サイン

通り名サインA (短冊型－自立)

通り名サインD (短冊型－共架)



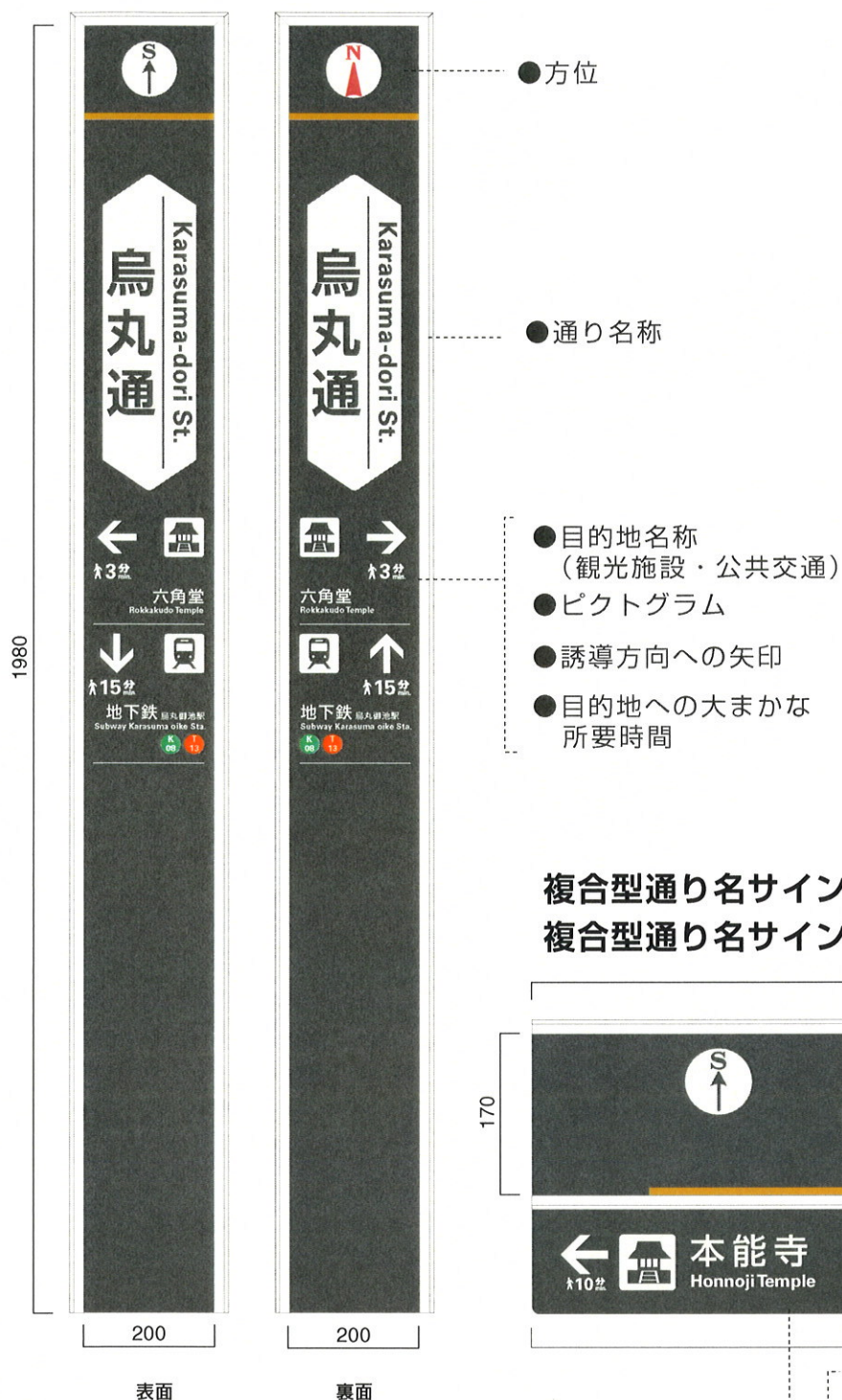
通り名サインB (矢羽根型－自立)

通り名サインC (矢羽根型－共架)



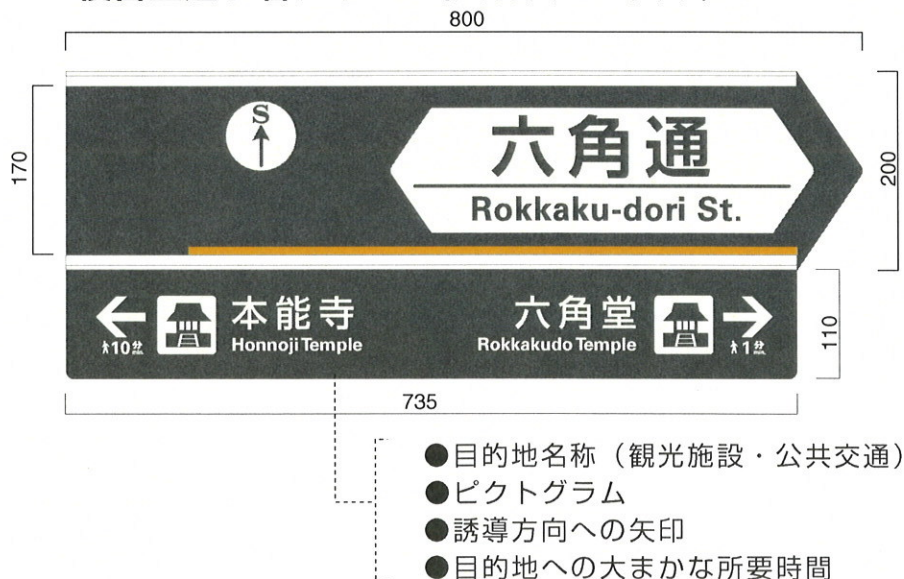
複合型通り名サイン

複合型通り名サインA (短冊型－自立)



複合型通り名サインB (矢羽根型－自立)

複合型通り名サインC (矢羽根型－共架)



4 -3-8) 表示デザイン

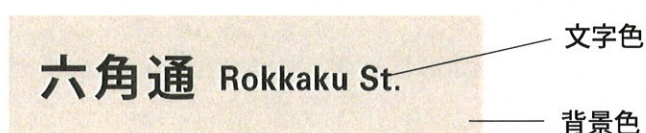
ユニバーサルデザインへの配慮

案内サインでは、色を多く使用するため、特に色弱の人にも識別しやすい色彩（色相、彩度、明度）や形状（パターンや野線等）に配慮してデザインする。

色彩や形状に配慮する点

●背景色と文字色のコントラスト

地図の背景色を、明るく、彩度を抑えた色彩とし、文字色（黒）とコントラストをつける。



●ピクトグラムの色彩

ピクトグラムの地の色を、情報の種類によって分けることにより、区別しやすいようにする。

例)



観光資源



鉄道



鉄道出入り口



その他



●鉄道路線図の色彩と形状

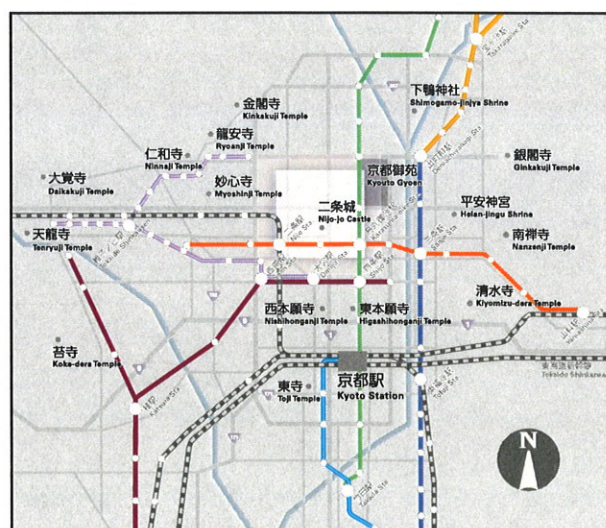
鉄道路線図は、各社のコーポレートカラーやイメージに沿った色彩の中で、特に色弱の人にも認識しやすい色彩（色相、彩度、明度）を使用する。

（色弱模擬フィルター等でのシミュレーションにより、色の認識がしやすい以下の色彩を選定。）

地下鉄烏丸線 Subway Karasuma Line	近鉄 Kintetsu Line
地下鉄東西線 Subway Tozai Line	阪急電鉄 Hankyu Line
JR JR Line	嵐電(京福電気鉄道) Randen Line
京阪電鉄 Keihan Line	叡山電車 Eizan Line

認識しやすい色彩を使用すると同時に、形状（パターンや野線等）についても差別化しやすくなるように工夫をする。

例) パターンを入れる
 中心に線を入れる
 縁取りをつける



カラーユニバーサルデザインの参考資料

色の組合せの事例



カラーユニバーサルデザインの支援ツール(道具)

色弱者の色の見え方をシミュレーション(模擬実験)するコンピュータソフトが何種類か登場しています。製品や施設の写真をこれらのソフトを使って処理すれば、一般色覚者でも色弱者の色の見え方を疑似体験でき、既存の配色の問題点を調べたり新しいデザインを考えたりするために極めて有効なツールとなっています。

※ソフトは無償でダウンロードできます。

<http://www.cudo.jp/simulation/index.html>

その他、色弱模擬フィルタも有効なツールのひとつです。

【シミュレーションが色弱者の見え方を完全に再現するものではありません。】